

## 競 技 注 意 事 項

1. 競技規則は、2024年度日本陸上競技連盟規則に準じるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。  
なお、「同じ競技者が2回不正スタートした場合は失格」のルールを適用して実施する。スタートの合図は、イングリッシュコマンド「On your marks : オン・ユア・マークス」(意味:位置について)「Set : セット」(意味:用意)を使う。
2. トラック競技の招集について
  - (1) 招集所は設けないので、参加児童1名と帯同者1名の2名で、指定した競技スタート場所付近に直接集合する。帯同者は、招集完了後速やかに芝生席へ移動してください。
  - (2) 招集開始は、競技開始の20分前に開始し、競技開始10分前に完了する。招集に遅れたものは、当該種目に出場できない。
  - (3) 招集時に腰ゼッケンを交付するので、右腰やや後方に着けること。(返却の必要はありません。)
3. 各種目決勝タイムレースで行い、上位8名による決勝は行わない。
4. 全天候舗装走路では火傷の危険があるので、素足での競技は禁止する。
5. オールウェザー用のスパイクシューズ(ピンの長さ9mm以内)を使用してもよい。
6. スタートは、クラウチングスタートとする。その際、スターティングブロックを使用してもよい。なお、4年生の競技においては、スタンディングスタートでも構わない。
7. 80Hは、下記にて行います。  
\*ハードルの高さ 70cm \*ハードル間 7m \*ハードル台数 9台  
\*スタートから第1ハードルまで 13m \*最終ハードルからゴールまで 11m
8. 走幅跳は本部前ピットで男女同時(コンバインド含む)に実施する。一人3回の試技(コンバインドは2回)とし、ベスト8は行なわない。  
招集は、競技開始30分前~20分前の間、競技場所にて行う。
9. 走高跳の跳躍方法は「はさみ跳び」とし、マットへは足裏からの着地を原則とする。背・腰から落下した場合は無効試技とする。同一の高さに挑戦できるのは3回ずつとするが、同一の高さでなくとも3回(コンバインドは2回)続けて失敗した場合は失格とする。  
最初の試技は、競技開始時に決定し、5cmずつバーを上げていく。  
招集は、競技開始30分前~20分前の間、競技場所にて行う。
10. ジャベリックボール投は、大会事務局が準備したものを使用する。助走距離は15m以内とし、一人3回(コンバインドは2回)の試技とする。試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドで投げることにする。羽根だけを持って試技することは禁止する。  
招集は、競技開始30分前~20分前の間、競技場所にて行う。
11. アスリートビブス(ナンバーカード)は主催者側で準備し、当日受付で手交する。  
なお、帰られる時には返却用BOXに返却する。
12. 記録証について  
当日の混雑等を避けるため、HPに記録賞をアップするので、そこからダウンロードしてください。(本大会記録証アップ予定日6月19日(月))